

ディレクトフォース モンゴル視察団に参加して

正田良次

1. はじめに

「一般のパックツアーでは経験できない充実した内容。参加して本当に良かった！」

シンガポール、北アルプス縦走等、7、8月のスケジュールが立て込んでいたために参加の決断がつかず、意思表示が遅れてしまった私ですが、これが参加後の第一の感想です。

それも、視察内容の企画、事前準備から旅行中のキメ細かいお世話までご配慮いただいた、モンゴル国商工会議所・日本のウルジ会頭様をはじめ小野寺様、西沢様のお蔭です。心からお礼申し上げる次第です。

また、廣瀬団長をはじめご参加のメンバーに恵まれて楽しい視察旅行となりました。皆様に感謝感謝です。以下に、印象と今後に向けての提案についてメモいたしました。

2. 印象に残ったこと

*モンゴルについて

- 1 人々が大変親日的である
- 2 首都ウランバートルは予想以上に近代化された発展途上の都市である。例えば、ビル群、スーパーマーケット、自動車の多さ、等々。
- 3 モノづくりに代表される産業の工業化はかなり遅れている。
- 4 貧富の差が大きい。（例、都心で会う人々と母子家庭の人々との格差）
- 5 物価は安い。（例、レギュラーガソリン¥75/lit、生ビール中J¥200、卵¥200/10ヶ等）
- 6 英語が通じにくい。ホテル以外で接した人々、デパート・スーパーの店員など）
- 7 韓国資本の進出が目立つ。（例、デパート、スーパー、観光施設等）

*旅行内容について

- 1 表敬訪問（商工会議所副会頭、清水 日本大使、3名の国会議員）は事前予想と異なり実のある内容であった。
- 2 チャツアルガン畑での母子家庭グループの明るい笑顔、そして良いプレゼントができた。
- 3 日本人墓地跡地に立つ記念碑への墓参。若い捕虜の両親宛て遺言書展示、そして捕虜の皆さんも歌ったであろう「ふるさと」の全員合唱で思わず涙。
- 4 オペラハウスにおけるモンゴル伝統音楽・舞踊コンサートの“Throat Singing”や馬頭琴など民族楽器による洋風オーケストラ演奏はいずれも素晴らしかった。
- 5 モンゴル若人による美しく楽しいファッションショーは良い息抜きとなった。
- 6 テレルジの山に囲まれた大草原での乗馬初体験1時間は期待通り、のどかで贅沢な散歩。“引馬”でなく単独で乗れた3人の格好良さ！
- 7 食事は想像以上に美味しい。肉（牛、羊、豚）が多く、鶏、魚は少ない。山羊肉は出なかった。高級レストランでの食事ばかりだったためか？ 庶民の日常の食事も食してみたかった。

3. 今後に向けての提案

旅行最終日に、“モンゴル研究会”を作る案が出されていましたが大賛成です。

モンゴルでの素晴らしい体験をこれで終わらせることなく、旅行を共にした素晴らしい仲間とともに何らかの形で思い出を継続したいものです。

*今回参加メンバーで“DFモンゴル会”（仮称）を定例開催する（少なくとも年1回）。

*会ではモンゴル商工会議所への感謝を込めた活動（例えば、母子家庭支援の継続）、及び参加メンバー間の懇親を行う。

以上